

事前評価書

都道府県名	北海道	関係市町村	キタミ 北見市、佐呂間町、湧別町	サロマ ユウベツ
事業名	直轄特定漁港漁場整備事業（直轄漁港整備事業）			
地区名	サロマ湖	事業主体	国（北海道開発局）	

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	サロマ湖漁港（第4種）	漁場名	—
陸揚金額	—	陸揚量	—
登録漁船隻数	—	利用漁船隻数	—
主な漁業種類	—	主な魚種	—
漁業経営体数	—	組合員数	—
地区の特徴	サロマ湖漁港は、オホーツク海とサロマ湖をつなぐ湖口部に位置し、湖内漁港の漁船がオホーツク海に出漁するための唯一の航路であるとともに、湖内と外海の海水交換機能を保持し、湖内の水質環境の維持を図る重要な役割を担っている。		
2. 事業概要			
事業目的	網走中部第1圏域の生産拠点漁港として、外郭施設や航路等の整備により、外海へ出漁する漁船の作業環境を改善するとともに、湖内の水質環境を保全し、国内外への安定的な水産物の供給体制を確保する。		
主要工事計画	【第1湖口地区】東防波堤210m、西外防波堤220m、-4.5m航路106,000m ² 【第2湖口地区】東防砂堤130.1m、西防砂堤130.1m、-4.5m航路4,000m ² ほか		
事業費	6,737 百万円	事業期間	令和2年度～令和11年度

II 必須項目

1. 事業の必要性	
サロマ湖漁港は、網走中部第1圏域におけるホタテガイ漁業等の拠点であるが、湖口周辺の漂砂により、航路への堆砂や湖口の埋没が生じており、漁船航行の支障やサロマ湖内の水質環境への影響が課題となっている。このため、防波堤、防砂堤、航路護岸及び航路を整備し、漁船航行時の安全性を確保するとともに、サロマ湖内の水質環境を保全する。また、サロマ湖内への流水流入による漁業施設被害を防止するアイスブーム設置の作業効率化を図るため、防波堤を改良する。	
2. 事業採択要件	
計画事業費 6,737百万円（採択要件：2,000百万円を超えるもの）	
3. 事業を実施するために必要な基本的な調査	
(1) 利用面、防護面、施工面等から適切な位置を選定するための地理的条件、自然条件に関する基本的な調査 気象・海象等の自然条件、漁港の利用状況及び施工上の制約等の基本的な調査は実施済み。	
(2) 施設の利用の見込み等に関する基本的な調査 現在の漁港の利用状況等を踏まえた、将来的な施設利用見込みについての基本的な調査は実施済み。	
(3) 自然環境、生活環境等の周辺環境及びそれに与える影響の把握 事業実施による周辺環境への影響については、把握済み。	

4. 事業を実施するために必要な調整		
(1) 地元漁業者、地元住民等との調整		
常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合、湧別漁業協同組合、サロマ湖養殖漁業協同組合とは事前調整済み。詳細については、地元漁業者も含め、引き続き調整予定。		
(2) 関係都道府県、関係市町村、関係部局（隣接海岸、道路、河川、港湾、環境等）との事前調整		
漁港管理者（北海道）及び北見市、佐呂間町、湧別町とは事前調整済み。		
5. 事業の投資効果が十分見込まれること		
費用便益比 B/C :	1.42	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり

Ⅲ 優先配慮項目

分類項目			評価指標	評価	
大項目	中項目	小項目			
有効性	生産力の向上と力強い産地づくり	生産	水産資源の保護・回復	水産資源の維持・保全	B
			資源管理諸施策との連携	A	
		漁家経営の安定（水産物の安定供給）	生産量の増産（持続・増産・下降抑制）	B	
		生産コストの縮減等（効率化・計画性の向上）	A		
		水域環境の保全・創造	水質・底質の維持・改善	A	
			環境保全効果の持続的な発揮	A	
	陸揚げ荷捌き集出荷流通加工	安全・安心な水産物提供	品質確保	—	
		消費者への安定提供	A		
		漁業活動の効率化	漁港機能の強化	B	
		労働環境の向上	就労改善等	A	
	生活	生活者の安全・安心確保	定期船の安定運航	—	
			災害時の緊急対応	—	
		漁業の生産性向上	生産量等の拡大・安定化や効率化等	B	
漁業の成長力強化	水産物流通に与える効果	水産物流通量等の拡大・安定化・効率化、販路や輸出拡大等	—		
	地域経済に与える効果	関連産業集積、雇用者数増加、交流人口の増加等	B		
効率性	コスト縮減対策		計画時におけるコスト縮減対策の検討	A	
事業の実施環境等	他計画との整合		地域の水産関連計画等との整合性及び地元調整	A	
	他事業との調整・連携		他事業との調整・連携	A	
	循環型社会の構築		リサイクルの促進	A	
	環境への配慮		生態系への配慮等	B	
	多面的機能発揮に向けた配慮		多面的機能の発揮	A	

Ⅳ 総合評価

サロマ湖漁港は、網走中部第1圏域の生産拠点漁港として、サロマ湖内で生産されたホタテ稚貝を外海の漁場に放流するための唯一の航路として生産を支えている。加えて湖内と外海の海水交換機能を有し、湖内の水質環境を維持する重要な役割を担っており、漂砂対策による航路の安全性確保と湖内水質環境維持が急務であるとともに、漁業活動の安全性の向上に資する施設整備が必要である。

本事業の必要性、有効性及び効率性は高く、費用便益比も1.0を越え投資効果が十分見込まれることから、事業の実施が妥当であると判断される。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	北海道	地区名	サロマ湖
事業名	直轄特定漁港漁場整備事業 (直轄漁港整備事業)	施設の耐用年数	50年

2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	1,089,902
②漁獲機会の増大効果			18,555	千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果			6,666,167	千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就労環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果	15,889	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬漁港利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	7,790,513	千円
総費用額（現在価値化）		C	5,484,230	千円
費用便益比		B / C	1.42	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ・ 安定的なホタテガイの生産・流通体制の確保、輸出促進への貢献
- ・ サロマ湖内の環境保全及び持続可能な漁業活動の確保

多段階評価の評価根拠について

都道府県名:北海道

地区名:サロマ湖

分類項目			評価指標	評価根拠	評価	
大項目	中項目	小項目				
有効性	生産力の向上と力強い産地づくり	水産資源の保護・回復	水産資源の維持・保全	外郭施設・水域施設などの整備により、湖内環境が維持・保全され、ホタテの稚貝から成貝までの成長段階の生育環境に加え、アマモ場の形成等によりその他魚種についても生育環境の確保が期待されることから、「B」と評価した。	B	
			資源管理諸施策との連携	サロマ湖養殖漁業協同組合では湖内環境のモニタリングを実施し、湖内の計画的な資源管理が行われている。外郭施設・水域施設などの整備により、湖内環境が維持され、モニタリング、生産計画と連動していることから、「A」と評価した。	A	
		漁家経営の安定(水産物の安定供給)	生産量の増産(持続・増産・下降抑制)	サロマ湖では、サロマ湖養殖漁業協同組合により計画的な資源管理が行われている。外郭施設・水域施設などの整備により、湖内環境が維持・保全され、ホタテに加えて、その他魚種についても安定した生産が期待できることから、「B」と評価した。	B	
			生産コストの削減等(効率化・計画性の向上)	外郭施設・水域施設などの整備により、漁業活動が効率化され、作業時間等の削減が図られることから、「A」と評価した。	A	
		水域環境の保全・創造	水質・底質の維持・改善	外郭施設・水域施設などの整備により、湖口の海水交換機能が維持され、湖内の水質・底質の維持・改善が期待され、湖内の水産資源の生息環境の保全に資することから、「A」と評価した。	A	
			環境保全効果の持続的な発揮	外郭施設・水域施設などの整備により、湖内環境保全・ホタテ等の水産資源の生育環境の保全効果が持続的に発揮されるよう、サロマ湖養殖漁業協同組合による湖内環境のモニタリングや養殖許容量規制の実施、10年毎の養殖許容量見直し等による管理体制が構築されていることから、「A」と評価した。	A	
		陸揚げ荷捌き集出荷流通加工	安全・安心な水産物提供	品質確保	該当なし	—
				消費者への安定提供	外郭施設・水域施設などの整備により、湖内環境が保持され、ホタテガイの稚貝及び成貝の安定供給が維持されることから「A」と評価した。	A
			漁業活動の効率化	漁港機能の強化	サロマ湖周辺の生産拠点漁港、流通拠点漁港との役割分担が明確であり、サロマ湖は生産拠点漁港として、湖内と外海を結ぶ航路、海水交換機能を有する水路としての役割を果たすための外郭施設・水域施設などの整備であることから「B」と評価した。	B
			労働環境の向上	就労改善等	外郭施設・水域施設などの整備により、労働環境が改善され生産性効率の向上が期待されることから、「A」と評価した。	A
	生活	生活者の安全・安心確保	定期船の安定運航	該当なし	—	
			災害時の緊急対応	該当なし	—	
	漁業の成長力	漁業の生産性向上	生産量等の拡大・安定化や効率化等	外郭施設・水域施設などの整備により、湖内環境の維持・保全による生産量の安定化、労働環境の改善による生産性の向上によって、養殖生産量の目標値の達成が見込まれることから、「B」と評価した。	B	
		水産物流通に与える効果	水産物流通量等の拡大・安定化や効率化、水産物の販路や輸出拡大等	該当なし	—	
		地域経済に与える効果	加工場等関連産業の集積、雇用者数増加、交流人口の増加等	外郭施設・水域施設などの整備により、漁業生産が確保されることから、圏域内の各漁協の加工施設をEU-HACCP認定施設とする計画を進めており、地域内のEU-HACCP認定施設数の目標値の達成が見込まれることから、「B」と評価した。	B	
効率性	コスト削減対策	計画時におけるコスト削減対策の検討	外郭施設の整備にあたり、浚渫土砂の有効活用を図ることで、コスト削減が期待されることから、「A」と評価した。	A		

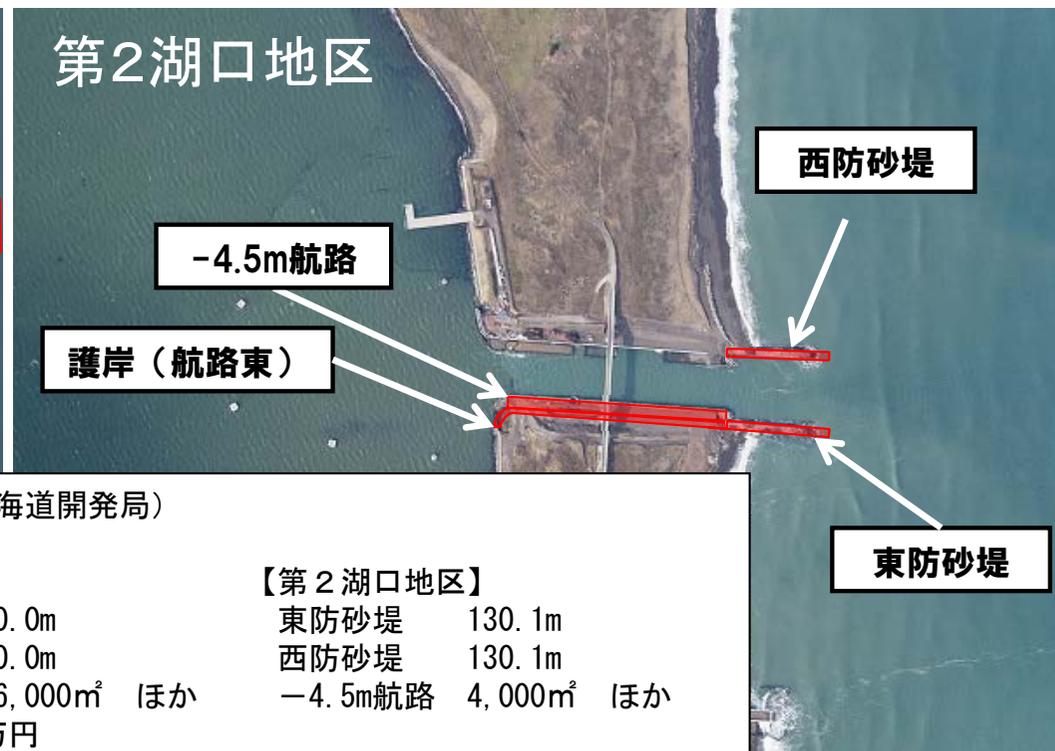
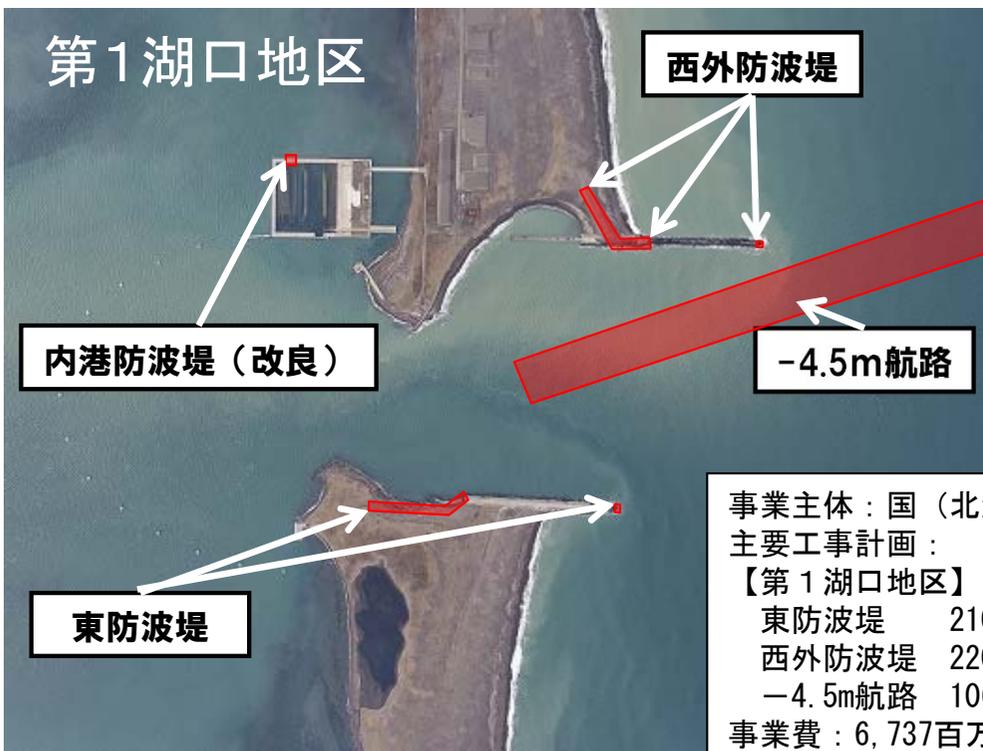
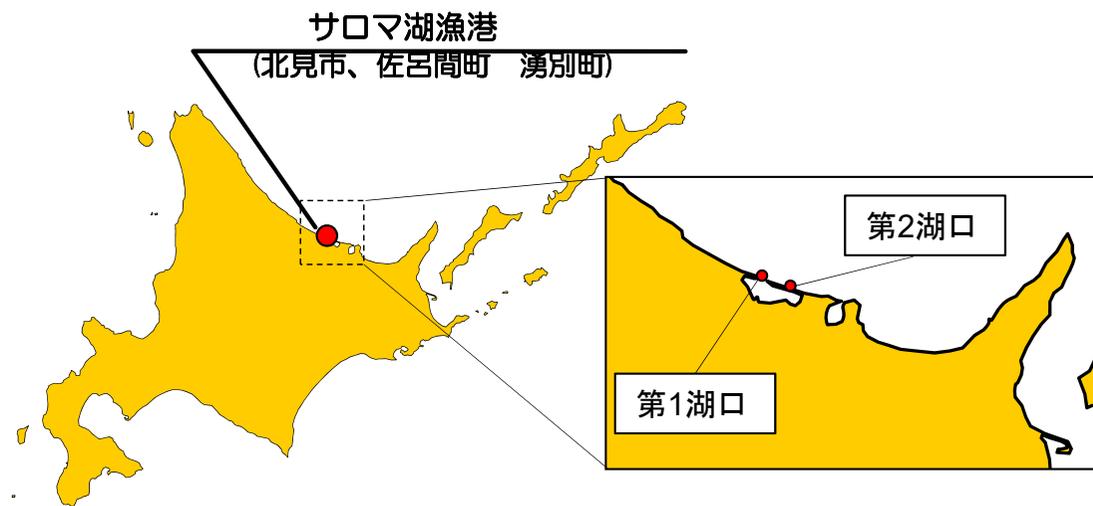
多段階評価の評価根拠について

都道府県名:北海道

地区名:サロマ湖

分類項目			評価指標	評価根拠	評価
大項目	中項目	小項目			
事業の実施環境等	他計画との整合		地域の水産関連計画等との整合性及び地元調整	本事業実施により、漁業者、行政、関係機関により策定されたサロマ湖地域マリンビジョンの実現に向けた取組の更なる推進が期待されることから、「A」と評価した。	A
	他事業との調整・連携		他事業との調整・連携	外郭施設・水域施設などの整備により、ホタテ生育環境の維持・保全が期待され、北海道水産業・漁村振興推進計画の「秋サケやホタテ、コンブの生産回復と安定化」を目的とした「波浪に強い漁場づくり、養殖技術の改良」との連携により、さらなるホタテ等の生産の安定化が期待されることから、「A」と評価した。	A
	循環型社会の構築		リサイクルの促進	施設整備にあたり、浚渫土砂等の発生材は積極的に有効活用を図る。また、廃棄物の発生を抑制するとともに、法令等を遵守し、持続的な環境保全が期待されることから、「A」と評価した。	A
	環境への配慮		生態系への配慮等	施設整備にあたり、生態系へ影響を与えないよう周辺環境に十分配慮することから、「B」と評価した。	B
	多面的機能発揮に向けた配慮		多面的機能の発揮	外郭施設・水域施設などの整備により、本来機能である航路としての漁港利用のほか、海水交換機能が維持されることで、湖内の生態系の保全に資することから「A」と評価した。	A

直轄特定漁港漁場整備事業 サロマ湖地区 事業概要図



事業主体：国（北海道開発局）
 主要工事計画：
 【第1湖口地区】
 東防波堤 210.0m
 西外防波堤 220.0m
 -4.5m航路 106,000㎡ ほか
 【第2湖口地区】
 東防砂堤 130.1m
 西防砂堤 130.1m
 -4.5m航路 4,000㎡ ほか
 事業費：6,737百万円
 事業期間：令和2年度～令和11年度

サロマ湖地区 直轄特定漁港漁場整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的 : 網走中部第1圏域の生産拠点漁港として、外郭施設や航路等の整備により、外海へ出漁する漁船の作業環境を改善するとともに、湖内の水質環境を保全し、国内外への安定的な水産物の供給体制の向上を図る。
- (2) 主要工事計画 : 【第1湖口地区】 東防波堤 210m、西外防波堤 220m、-4.5m航路 106,000㎡
【第2湖口地区】 東防砂堤130.1m、西防砂堤130.1m、-4.5m航路 4,000㎡ など
- (3) 事業費 : 6,737百万円
- (4) 工期 : 令和2年度～令和11年度

2. 総費用便益比の算定

「水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン」(平成31年4月改訂 水産庁)及び同「参考資料」(平成31年4月改訂 水産庁)等に基づき算定。

(1) 総費用総便益比の総括

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	5,484,230 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	7,790,513 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.42

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
西外防波堤 【第1湖口地区】	L= 220.0 m	546,000
東防波堤 【第1湖口地区】	L= 210.0 m	819,000
内港防波堤(改良) 【第1湖口地区】	1式	201,000
西防砂堤 【第2湖口地区】	L= 130.1 m	1,748,000
東防砂堤 【第2湖口地区】	L= 130.1 m	1,966,000
-4.5m航路 【第1湖口地区】	A= 106,000 ㎡	346,000
-4.5m航路 【第2湖口地区】	A= 4,000 ㎡	801,000
護岸(航路東) 【第2湖口地区】	L= 271.2 m	310,000
計		6,737,000
維持管理費等		59,500
総費用(消費税込)		6,796,500
内、消費税額		778,575
総費用(消費税抜)		6,017,925
現在価値化後の総費用		5,484,230

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準 便益額 (千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		70,843	【第2湖口地区】 ・防砂堤・航路等の整備による漁船航行時間の短縮 【第1湖口地区】 ・内港防波堤の整備による流水被害額の削減
漁獲機会の増大効果		1,246	【第1湖口地区】 ・防波堤・航路の整備による出漁回数の増加 【第2湖口地区】 ・防砂堤・航路等の整備による出漁回数の増加
漁獲可能資源の維持・培養効果		435,751	【第2湖口地区】 ・防砂堤・航路等の整備によるホタテ稚貝生残率の向上 【第1湖口地区・第2湖口地区】 ・外郭施設・航路等の整備によるホタテ稚貝生産量減少の防止
漁業事業者の労働環境改善効果		1,041	【第1湖口地区】 ・防波堤・航路の整備による出入港時操船環境の改善 【第2湖口地区】 ・防砂堤・航路等の整備による出入港時操船環境の改善
計		508,881	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率	デフレーター	費用(千円)			便益(千円)						
				事業費 (維持管理費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理費含む)	水産物生産コストの削減効果	漁獲機会の増大効果	漁獲可能資源の維持・培養効果	漁業就業者の労働環境改善効果	計	現在価値	
				①	②	③							①×②×③
0	1	1.000	1.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	2	0.962	1.000	414,396	376,724	362,408	0	0	0	0	0	0	0
2	3	0.925	1.000	739,000	671,818	621,432	0	0	0	0	0	0	0
3	4	0.889	1.000	874,055	794,595	706,395	0	0	0	0	0	0	0
4	5	0.855	1.000	501,592	455,993	389,874	13,417	103	74,695	170	88,385	75,569	
5	6	0.822	1.000	614,196	558,360	458,972	13,417	103	74,695	170	88,385	72,652	
6	7	0.790	1.000	412,232	374,756	296,057	13,512	103	74,695	170	88,480	69,899	
7	8	0.760	1.000	500,628	455,116	345,888	13,512	103	74,695	170	88,480	67,245	
8	9	0.731	1.000	594,232	540,211	394,894	13,512	103	74,695	170	88,480	64,679	
9	10	0.703	1.000	958,232	871,120	612,397	13,512	103	74,695	170	88,480	62,201	
10	11	0.676	1.000	1,483,628	1,348,753	911,757	13,512	103	74,695	170	88,480	59,812	
11	12	0.650	1.000	1,190	1,082	703	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	330,773	
12	13	0.625	1.000	1,190	1,082	676	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	318,051	
13	14	0.601	1.000	89,586	81,442	48,947	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	305,837	
14	15	0.577	1.000	1,190	1,082	624	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	293,624	
15	16	0.555	1.000	1,190	1,082	601	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	282,429	
16	17	0.534	1.000	89,586	81,442	43,490	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	271,742	
17	18	0.513	1.000	1,190	1,082	555	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	261,056	
18	19	0.494	1.000	1,190	1,082	535	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	251,387	
19	20	0.475	1.000	89,586	81,442	38,685	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	241,718	
20	21	0.456	1.000	1,190	1,082	493	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	232,050	
46	47	0.165	1.000	89,586	81,442	13,438	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	83,965	
47	48	0.158	1.000	1,190	1,082	171	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	80,403	
48	49	0.152	1.000	1,190	1,082	164	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	77,350	
49	50	0.146	1.000	89,586	81,442	11,891	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	74,297	
50	51	0.141	1.000	1,190	1,082	153	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	71,752	
51	52	0.135	1.000	1,190	1,082	146	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	68,699	
52	53	0.130	1.000	89,586	81,442	10,587	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	66,155	
53	54	0.125	1.000	1,135	1,032	129	70,843	1,246	435,751	1,041	508,881	63,610	
54	55	0.120	1.000	994	904	108	57,426	1,143	361,056	871	420,496	50,460	
55	56	0.116	1.000	89,390	81,264	9,427	57,426	1,143	361,056	871	420,496	48,778	
56	57	0.111	1.000	958	871	97	57,331	1,143	361,056	871	420,401	46,665	
57	58	0.107	1.000	958	871	93	57,331	1,143	361,056	871	420,401	44,983	
58	59	0.103	1.000	89,354	81,231	8,367	57,331	1,143	361,056	871	420,401	43,301	
59	60	0.099	1.000	958	871	86	57,331	1,143	361,056	871	420,401	41,620	
60	61	0.095	1.000	958	871	83	57,331	1,143	361,056	871	420,401	39,938	
計				6,796,500		5,484,230	計						7,790,513

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

① 防砂堤・航路等の整備による漁船航行時間の短縮（第2湖口地区）

		区分	数量	備考	
漁船航行時間の短縮	対象漁船隻数	栄浦	刺網漁業(0~3t) (隻)	1	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
			刺網漁業(3~5t) (隻)	3	
			サケ定置網漁業(3~5t) (隻)	1	
			小型定置網漁業(0~3t) (隻)	23	
			小型定置網漁業(3~5t) (隻)	1	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10t) (隻)	14	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (隻)	11	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (隻)	2	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (隻)	31	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (隻)	3	
			小型底曳網漁業(0~3t) (隻)	4	
		小型底曳網漁業(3~5t) (隻)	1		
		浜佐呂間	小型底曳網漁業(0~3t) (隻)	① 1	
			小型底曳網漁業(3~5t) (隻)	2	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10t) (隻)	1	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (隻)	6	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (隻)	3	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (隻)	12	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (隻)	1	
		富武士	刺網漁業(3~5t) (隻)	3	
			小型底曳網漁業(3~5t) (隻)	4	
	小型底曳網漁業(10~20t) (隻)		3		
	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (隻)		1		
	ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (隻)		52		
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20t) (隻)		3		
	操業回数	栄浦	小型定置網漁業(0~3t) (隻)	5	
			刺網漁業(0~3t) (回/日)	2	
			刺網漁業(3~5t) (回/日)	2	
			サケ定置網漁業(3~5t) (回/日)	2	
			小型定置網漁業(0~3t) (回/日)	1	
			小型定置網漁業(3~5t) (回/日)	1	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10t) (回/日)	5	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (回/日)	3	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (回/日)	2	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (回/日)	2	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (回/日)	2	
		小型底曳網漁業(0~3t) (回/日)	1		
		小型底曳網漁業(3~5t) (回/日)	1		
		浜佐呂間	小型底曳網漁業(0~3t) (回/日)	② 1	
			小型底曳網漁業(3~5t) (回/日)	1	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10t) (回/日)	4	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (回/日)	3	
ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (回/日)			2		
ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (回/日)			2		
ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (回/日)			2		
刺網漁業(3~5t) (回/日)		2			
富武士	小型底曳網漁業(3~5t) (回/日)	1			
	小型底曳網漁業(10~20t) (回/日)	1			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (回/日)	2			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (回/日)	2			
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20t) (回/日)	4			
小型定置網漁業(0~3t) (回/日)	1				

		区分	数量	備考			
漁船航行時間の短縮	操業日数	栄浦	刺網漁業 (日/年)	80			
			サケ定置網漁業 (日/年)	65			
			小型定置網漁業 (日/年)	165			
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (日/年)	14			
			ホタテ養殖漁業(採苗) (日/年)	50			
		浜佐呂間	小型底曳網漁業 (日/年)	80			
			小型底曳網漁業 (日/年)	80			
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (日/年)	14			
			ホタテ養殖漁業(採苗) (日/年)	50			
			刺網漁業 (日/年)	80			
		富士	小型底曳網漁業 (日/年)	80			
			ホタテ養殖漁業(採苗) (日/年)	50			
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (日/年)	14			
			小型定置網漁業 (日/年)	165			
		対象作業人員	栄浦	刺網漁業(0~3t) (人)		2	④
	刺網漁業(3~5t) (人)			2			
	サケ定置網漁業(3~5t) (人)			8			
	小型定置網漁業(0~3t) (人)			3			
	小型定置網漁業(3~5t) (人)			5			
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10t) (人)			6			
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (人)			6			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (人)			3			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (人)			3			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (人)			3			
	小型底曳網漁業(0~3t) (人)			2			
	小型底曳網漁業(3~5t) (人)			2			
	浜佐呂間			小型底曳網漁業(0~3t) (人)		2	
				小型底曳網漁業(3~5t) (人)		2	
				ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10t) (人)		6	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (人)	6			
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (人)	3			
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (人)	3			
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (人)	3			
			刺網漁業(3~5t) (人)	2			
			小型底曳網漁業(3~5t) (人)	2			
	富士		小型底曳網漁業(10~20t) (人)	6			
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (人)	3			
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (人)	3			
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20t) (人)	6			
			小型定置網漁業(0~3t) (人)	3			
			小型定置網漁業(0~3t) (人)	3			
	航行時間 (迂回距離(往復))		栄浦	刺網漁業 (km)		45.0	
サケ定置網漁業 (km)				44.8			
小型定置網漁業 (km)				42.0			
ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (km)		36.6					
ホタテ養殖漁業(採苗) (km)		45.4					
浜佐呂間		小型底曳網漁業 (km)	44.6				
		小型底曳網漁業 (km)	35.8				
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (km)	37.6				
		ホタテ養殖漁業(採苗) (km)	28.4				
		刺網漁業 (km)	33.0				
富士		小型底曳網漁業 (km)	2.8				
		ホタテ養殖漁業(採苗) (km)	2.8				
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (km)	2.8				
		小型定置網漁業 (km)	5.0				
航行速度		(km/時間)	⑥	27.78	15ノット (1ノット=1.852kmで換算)		

調査日：平成30年9月4日
 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合
 調査実施者：網走港湾事務所職員
 調査実施方法：ヒアリング調査

		区分	数量	備考	
漁船航行時間の短縮	漁業者労務単価	刺網漁業(0~3 t) (円/時間)	1,010	漁業経営調査報告書(平成30年11月農林水産省)より算定	
		刺網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		サケ定置網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		小型定置網漁業(0~3 t) (円/時間)	1,954		
		小型定置網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,954		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (円/時間)	2,569		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (円/時間) ⑦	2,065		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (円/時間)	1,010		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (円/時間)	2,569		
		小型底曳網漁業(0~3 t) (円/時間)	1,010		
		小型底曳網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		小型底曳網漁業(10~20 t) (円/時間)	2,065		
	作業時間の短縮	栄浦	刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	524	①×②×③×④×⑤/⑥×⑦/1,000 ※漁港別・漁業種別・階層別に算出
			刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	2,242	
			サケ定置網漁業(3~5 t) (千円/年)	2,418	
			小型定置網漁業(0~3 t) (千円/年)	33,634	
			小型定置網漁業(3~5 t) (千円/年)	2,437	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (千円/年)	19,902	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (千円/年)	7,542	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	990	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	21,917	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	3,779	
			小型底曳網漁業(0~3 t) (千円/年)	1,038	
			小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	370	
		浜佐呂間	小型底曳網漁業(0~3 t) (千円/年)	208	
			小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年) ⑧	595	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (千円/年)	1,168	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20 t) (千円/年)	4,226	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	929	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	5,307	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	788	
刺網漁業(3~5 t) (千円/年)			1,644		
富士		小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	93		
		小型底曳網漁業(10~20 t) (千円/年)	300		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	31		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	2,267		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (千円/年)	210		
		小型定置網漁業(0~3 t) (千円/年)	870		
年間便益額		千円/年 ⑨	115,429	⑧の合計	

		区分	数量	備考
漁船経費の削減	対象漁船馬力	刺網漁業(0~3 t) (Ps)	51	北海道漁船統計表(H29年北海道水産林務部)
		刺網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		サケ定置網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		小型定置網漁業(0~3 t) (Ps)	51	
		小型定置網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (Ps)	223	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (Ps)	⑩ 404	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (Ps)	51	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (Ps)	223	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (Ps)	223	
		小型底曳網漁業(0~3 t) (Ps)	51	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		小型底曳網漁業(10~20 t) (Ps)	404	
		漁船燃費	刺網漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)	
刺網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)				
サケ定置網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)				
小型定置網漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)				
小型定置網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)				
ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (kg/Ps・hr)				
ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (kg/Ps・hr)				
ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (kg/Ps・hr)				
ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (kg/Ps・hr)				
ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (kg/Ps・hr)				
小型底曳網漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)				
小型底曳網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)				
小型底曳網漁業(10~20 t) (kg/Ps・hr)				
燃料重量	刺網漁業(0~3 t) (Kg/m3)	⑫ 820	石油連盟統計情報	
	刺網漁業(3~5 t) (Kg/m3)			
	サケ定置網漁業(3~5 t) (Kg/m3)			
	小型定置網漁業(0~3 t) (Kg/m3)			
	小型定置網漁業(3~5 t) (Kg/m3)			
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (Kg/m3)			
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (Kg/m3)			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (Kg/m3)			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (Kg/m3)			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (Kg/m3)			
	小型底曳網漁業(0~3 t) (Kg/m3)			
	小型底曳網漁業(3~5 t) (Kg/m3)			
小型底曳網漁業(10~20 t) (Kg/m3)				
燃油単価	刺網漁業(0~3 t) (円/L)	⑬ 110.5	石油製品価格調査(経済産業省資源エネルギー庁)	
	刺網漁業(3~5 t) (円/L)			
	サケ定置網漁業(3~5 t) (円/L)			
	小型定置網漁業(0~3 t) (円/L)			
	小型定置網漁業(3~5 t) (円/L)			
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (円/L)			
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (円/L)			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (円/L)			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (円/L)			
	ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (円/L)			
	小型底曳網漁業(0~3 t) (円/L)			
	小型底曳網漁業(3~5 t) (円/L)			
小型底曳網漁業(10~20 t) (円/L)				

		区分	数量	備考	
漁船経費の削減	漁船燃料費の削減	栄浦	刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	303	①×②×③×⑤/⑥×⑩×⑪/⑫×1,000×⑬ /1,000 ※漁港別・漁業種別・階層別に算出
			刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	3,972	
			サケ定置網漁業(3~5 t) (千円/年)	1,071	
			小型定置網漁業(0~3 t) (千円/年)	6,703	
			小型定置網漁業(3~5 t) (千円/年)	1,274	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (千円/年)	6,596	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (千円/年)	5,633	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	382	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	25,881	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	2,505	
		浜佐呂間	小型底曳網漁業(0~3 t) (千円/年)	600	
			小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	656	
			小型底曳網漁業(0~3 t) (千円/年)	120	
			小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	1,053	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (千円/年)	387	
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20 t) (千円/年)	3,157	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	358	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	6,267	
		富武士	ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	522	
			刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	2,913	
			小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	165	
			小型底曳網漁業(10~20 t) (千円/年)	224	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	12	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	2,678		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (千円/年)	157		
		小型定置網漁業(0~3 t) (千円/年)	173		
		年間便益額	千円/年	⑮	
前計画における便益対象施設の事業費	千円	⑯	11,928,854		
本特定計画における便益対象施設の事業費	千円	⑰	5,300,000		
按分率	(%)	⑱	30.8	⑰/(⑯+⑰)	
年間便益額	(千円/年)		58,271	(⑨+⑮)×⑱	

② 西外防波堤の整備による航行時間の短縮 (第1湖口地区)

		区分	数量	備考	
漁船航行時間の短縮	対象漁船隻数	富武士	サケ定置網漁業(10~20t) (隻)	1	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：サロマ湖養殖漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
			刺網漁業(0~3t) (隻)	13	
			刺網漁業(3~5t) (隻)	2	
		芭露	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (隻)	9	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (隻)	28	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (隻)	1	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5t) (隻)	2	
			小型底曳網漁業(3~5t) (隻)	2	
			カレイ刺網漁業(0~3t) (隻)	3	
			カレイ刺網漁業(3~5t) (隻)	2	
			ニシン刺網漁業(0~3t) (隻)	8	
			ニシン刺網漁業(3~5t) (隻)	5	
			チカ刺網漁業(0~3t) (隻)	7	
			チカ刺網漁業(3~5t) (隻)	7	
			登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (隻)	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (隻)		105	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (隻)		8	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3t) (隻)		1	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5t) (隻)		19	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10t) (隻)		3	
		カレイ刺網漁業(0~3t) (隻)		5	
		カレイ刺網漁業(3~5t) (隻)		19	
		ニシン刺網漁業(0~3t) (隻)		3	
		ニシン刺網漁業(3~5t) (隻)		24	
		ニシン刺網漁業(5~10t) (隻)		1	
		チカ刺網漁業(0~3t) (隻)		5	
		チカ刺網漁業(3~5t) (隻)		3	
		タコ函漁業(0~3t) (隻)		5	
		小型定置網漁業(0~3t) (隻)		8	
		小型定置網漁業(3~5t) (隻)	2		
	小型底曳網漁業(ウニ)(3~5t) (隻)	7			
	小型底曳網漁業(ホッキ貝)(3~5t) (隻)	3			
	操業回数	富武士	サケ定置網漁業(10~20t) (回/日)	1	
			刺網漁業(0~3t) (回/日)	1	
			刺網漁業(3~5t) (回/日)	1	
		芭露	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (回/日)	1	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (回/日)	1	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (回/日)	1	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5t) (回/日)	1	
			小型底曳網漁業(3~5t) (回/日)	1	
			カレイ刺網漁業(0~3t) (回/日)	1	
			カレイ刺網漁業(3~5t) (回/日)	1	
			ニシン刺網漁業(0~3t) (回/日)	1	
		ニシン刺網漁業(3~5t) (回/日)	1		
		チカ刺網漁業(0~3t) (回/日)	1		
チカ刺網漁業(3~5t) (回/日)		1			
登栄床		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (回/日)	2		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (回/日)	2		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (回/日)	2		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3t) (回/日)	2		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5t) (回/日)	2		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10t) (回/日)	2		
		カレイ刺網漁業(0~3t) (回/日)	1		
		カレイ刺網漁業(3~5t) (回/日)	1		
		ニシン刺網漁業(0~3t) (回/日)	1		
		ニシン刺網漁業(3~5t) (回/日)	1		
		ニシン刺網漁業(5~10t) (回/日)	1		
		チカ刺網漁業(0~3t) (回/日)	1		
		チカ刺網漁業(3~5t) (回/日)	1		
	タコ函漁業(0~3t) (回/日)	1			
	小型定置網漁業(0~3t) (回/日)	1			
	小型定置網漁業(3~5t) (回/日)	1			
小型底曳網漁業(ウニ)(3~5t) (回/日)	1				
小型底曳網漁業(ホッキ貝)(3~5t) (回/日)	1				

		区分	数量	備考		
漁船航行時間の短縮	操業日数	富士	サケ定置網漁業 (日/年)	65		
			刺網漁業 (日/年)	80		
		芭露	ホタテ養殖漁業(採苗) (日/年)	50		
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来) (日/年)	7		
			小型底曳網漁業 (日/年)	30		
			カレイ刺網漁業 (日/年)	30		
			ニシン刺網漁業 (日/年)	10		
			チカ刺網漁業 (日/年)	10		
		登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗) (日/年)	③ 50		
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来) (日/年)	7		
			カレイ刺網漁業 (日/年)	30		
			ニシン刺網漁業 (日/年)	10		
			チカ刺網漁業 (日/年)	10		
			タコ函漁業 (日/年)	50		
			小型定置網漁業 (日/年)	20		
			小型底曳網漁業(ウニ) (日/年)	30		
			小型底曳漁業(ホッキ貝) (日/年)	40		
		対象作業人員	富士	サケ定置網漁業(10~20 t) (人)		10
			刺網漁業(0~3 t) (人)	2		
			刺網漁業(3~5 t) (人)	2		
	芭露		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (人)	3		
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (人)	3		
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (人)	3		
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (人)	3		
			小型底曳網漁業(3~5 t) (人)	2		
			カレイ刺網漁業(0~3 t) (人)	2		
			カレイ刺網漁業(3~5 t) (人)	2		
			ニシン刺網漁業(0~3 t) (人)	2		
			ニシン刺網漁業(3~5 t) (人)	2		
			チカ刺網漁業(0~3 t) (人)	1		
			チカ刺網漁業(3~5 t) (人)	1		
			登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (人)		3
	ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (人)			④ 3		
	ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (人)			3		
	ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (人)			3		
	ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (人)			3		
	ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (人)			3		
	カレイ刺網漁業(0~3 t) (人)			2		
	カレイ刺網漁業(3~5 t) (人)			2		
	ニシン刺網漁業(0~3 t) (人)			2		
	ニシン刺網漁業(3~5 t) (人)			2		
	ニシン刺網漁業(5~10 t) (人)			2		
	チカ刺網漁業(0~3 t) (人)			1		
	チカ刺網漁業(3~5 t) (人)			1		
	タコ函漁業(0~3 t) (人)			2		
小型定置網漁業(0~3 t) (人)	1					
小型定置網漁業(3~5 t) (人)	1					
小型底曳網漁業(ウニ)(3~5 t) (人)	2					
	小型底曳漁業(ホッキ貝)(3~5 t) (人)	1				

		区分	数量	備考	
漁船航行時間の短縮	整備前	富士	サケ定置網漁業(10~20 t) (時間)	0.08	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：サロマ湖養殖漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
			刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.08	
			刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.08	
		芭露	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (時間)	0.08	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (時間)	0.08	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (時間)	0.08	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (時間)	0.08	
			小型底曳網漁業(3~5 t) (時間)	0.08	
			カレイ刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.08	
			カレイ刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.08	
			ニシン刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.08	
			ニシン刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.08	
			チカ刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.08	
			チカ刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.08	
		登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (時間)	0.08	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (時間)	0.08	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (時間)	0.08	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (時間)	0.08	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (時間)	0.08	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (時間)	0.08	
			カレイ刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.08	
			カレイ刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.08	
			ニシン刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.08	
			ニシン刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.08	
	ニシン刺網漁業(5~10 t) (時間)		0.08		
	チカ刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.08			
	チカ刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.08			
	タコ函漁業(0~3 t) (時間)	0.08			
	小型定置網漁業(0~3 t) (時間)	0.08			
	小型定置網漁業(3~5 t) (時間)	0.08			
	小型底曳網漁業(ウニ)(3~5 t) (時間)	0.08			
	小型底曳漁業(ホッキ貝)(3~5 t) (時間)	0.08			
	整備後	富士	サケ定置網漁業(10~20 t) (時間)	0.00	
			刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.00	
			刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.00	
		芭露	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (時間)	0.00	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (時間)	0.00	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (時間)	0.00	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (時間)	0.00	
			小型底曳網漁業(3~5 t) (時間)	0.00	
			カレイ刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.00	
			カレイ刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.00	
			ニシン刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.00	
			ニシン刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.00	
			チカ刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.00	
			チカ刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.00	
		登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (時間)	0.00	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (時間)	0.00	
ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (時間)			0.00		
ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (時間)			0.00		
ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (時間)			0.00		
ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (時間)			0.00		
カレイ刺網漁業(0~3 t) (時間)			0.00		
カレイ刺網漁業(3~5 t) (時間)			0.00		
ニシン刺網漁業(0~3 t) (時間)			0.00		
ニシン刺網漁業(3~5 t) (時間)			0.00		
ニシン刺網漁業(5~10 t) (時間)	0.00				
チカ刺網漁業(0~3 t) (時間)	0.00				
チカ刺網漁業(3~5 t) (時間)	0.00				
タコ函漁業(0~3 t) (時間)	0.00				
小型定置網漁業(0~3 t) (時間)	0.00				
小型定置網漁業(3~5 t) (時間)	0.00				
小型底曳網漁業(ウニ)(3~5 t) (時間)	0.00				
小型底曳漁業(ホッキ貝)(3~5 t) (時間)	0.00				

		区分	数量	備考	
漁船航行時間の短縮	漁業者労務単価	サケ定置網漁業(10~20 t) (円/時間)	2,065	漁業経営調査報告書(平成30年11月農林水産省)より算定	
		刺網漁業(0~3 t) (円/時間)	1,010		
		刺網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (円/時間)	1,010		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (円/時間)	2,569		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (円/時間)	1,010		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (円/時間)	1,442		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (円/時間)	2,569		
		小型底曳網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		カレイ刺網漁業(0~3 t) (円/時間) ⑦	1,010		
		カレイ刺網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		ニシン刺網漁業(0~3 t) (円/時間)	1,010		
		ニシン刺網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		ニシン刺網漁業(5~10 t) (円/時間)	2,569		
		チカ刺網漁業(0~3 t) (円/時間)	1,010		
		チカ刺網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,442		
		タコ函漁業(0~3 t) (円/時間)	1,010		
		小型定置網漁業(0~3 t) (円/時間)	1,954		
		小型定置網漁業(3~5 t) (円/時間)	1,954		
	作業時間の短縮	富武士	サケ定置網漁業(10~20 t) (千円/年)	107	①×②×③×④×(⑤-⑥)×⑦/1,000 ※漁港別・漁業種別・階層別に算出
			刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	168	
			刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	37	
		芭露	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	109	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	485	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	31	
			ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (千円/年)	5	
			小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	14	
			カレイ刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	15	
			カレイ刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	14	
			ニシン刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	13	
			ニシン刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	12	
			チカ刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	6	
チカ刺網漁業(3~5 t) (千円/年)			8		
登栄床		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	412		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年) ⑧	3,634		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	493		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (千円/年)	3		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (千円/年)	92		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (千円/年)	26		
		カレイ刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	24		
		カレイ刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	132		
		ニシン刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	5		
		ニシン刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	55		
		ニシン刺網漁業(5~10 t) (千円/年)	4		
		チカ刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	4		
		チカ刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	3		
タコ函漁業(0~3 t) (千円/年)	40				
小型定置網漁業(0~3 t) (千円/年)	25				
小型定置網漁業(3~5 t) (千円/年)	6				
小型底曳網漁業(ウニ)(3~5 t) (千円/年)	48				
小型底曳網漁業(ホッキ貝)(3~5 t) (千円/年)	14				
年間便益額	千円/年 ⑨	6,044	⑧の合計		

		区分	数量	備考
対象漁船馬力		サケ定置網漁業(10~20 t) (Ps)	404	北海道漁船統計表(H29年北海道水産林務部)
		刺網漁業(0~3 t) (Ps)	51	
		刺網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (Ps)	51	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (Ps)	223	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (Ps)	223	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (Ps)	51	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (Ps)	223	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (Ps)	223	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		カレイ刺網漁業(0~3 t) (Ps)	51	
		カレイ刺網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		ニシン刺網漁業(0~3 t) (Ps)	51	
		ニシン刺網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		ニシン刺網漁業(5~10 t) (Ps)	223	
		チカ刺網漁業(0~3 t) (Ps)	51	
		チカ刺網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
		タコ函漁業(0~3 t) (Ps)	51	
		小型定置網漁業(0~3 t) (Ps)	51	
		小型定置網漁業(3~5 t) (Ps)	223	
漁船燃費の削減	漁船燃費	サケ定置網漁業(10~20 t) (kg/Ps・hr)	0.17	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(平成31年4月、水産庁)
		刺網漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		刺網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		カレイ刺網漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		カレイ刺網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ニシン刺網漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ニシン刺網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		ニシン刺網漁業(5~10 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		チカ刺網漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		チカ刺網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		タコ函漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		小型定置網漁業(0~3 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
		小型定置網漁業(3~5 t) (kg/Ps・hr)	0.17	
燃料重量	燃料重量	サケ定置網漁業(10~20 t) (Kg/m3)	820	石油連盟統計情報
		刺網漁業(0~3 t) (Kg/m3)	820	
		刺網漁業(3~5 t) (Kg/m3)	820	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (Kg/m3)	820	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (Kg/m3)	820	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (Kg/m3)	820	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (Kg/m3)	820	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (Kg/m3)	820	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (Kg/m3)	820	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (Kg/m3)	820	
		カレイ刺網漁業(0~3 t) (Kg/m3)	820	
		カレイ刺網漁業(3~5 t) (Kg/m3)	820	
		ニシン刺網漁業(0~3 t) (Kg/m3)	820	
		ニシン刺網漁業(3~5 t) (Kg/m3)	820	
		ニシン刺網漁業(5~10 t) (Kg/m3)	820	
		チカ刺網漁業(0~3 t) (Kg/m3)	820	
		チカ刺網漁業(3~5 t) (Kg/m3)	820	
		タコ函漁業(0~3 t) (Kg/m3)	820	
		小型定置網漁業(0~3 t) (Kg/m3)	820	
		小型定置網漁業(3~5 t) (Kg/m3)	820	

		区分	数量	備考
燃油単価		サケ定置網漁業(10~20 t) (円/L)	110.5	石油製品価格調査(経済産業省資源エネルギー庁)
		刺網漁業(0~3 t) (円/L)	110.5	
		刺網漁業(3~5 t) (円/L)	110.5	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (円/L)	110.5	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (円/L)	110.5	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (円/L)	110.5	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (円/L)	110.5	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (円/L)	110.5	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (円/L)	110.5	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (円/L)	110.5	
		カレイ刺網漁業(0~3 t) (円/L) ⑬	110.5	
		カレイ刺網漁業(3~5 t) (円/L)	110.5	
		ニシン刺網漁業(0~3 t) (円/L)	110.5	
		ニシン刺網漁業(3~5 t) (円/L)	110.5	
		ニシン刺網漁業(5~10 t) (円/L)	110.5	
		チカ刺網漁業(0~3 t) (円/L)	110.5	
		チカ刺網漁業(3~5 t) (円/L)	110.5	
		タコ函漁業(0~3 t) (円/L)	110.5	
		小型定置網漁業(0~3 t) (円/L)	110.5	
		小型定置網漁業(3~5 t) (円/L)	110.5	
漁船経費の削減	富武士	サケ定置網漁業(10~20 t) (千円/年)	48	①×②×③×⑥×⑩×⑪/⑫×1,000×⑬ ※漁港別・漁業種別・階層別に算出
		刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	97	
		刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	65	
	芭露	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	42	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	572	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	20	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (千円/年)	6	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	25	
		カレイ刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	8	
		カレイ刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	25	
		ニシン刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	7	
		ニシン刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	20	
		チカ刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	7	
	チカ刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	29		
	登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	159	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	4,291	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年) ⑭	327	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t) (千円/年)	1	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t) (千円/年)	109	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t) (千円/年)	17	
		カレイ刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	14	
		カレイ刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	233	
		ニシン刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	3	
		ニシン刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	98	
		ニシン刺網漁業(5~10 t) (千円/年)	4	
		チカ刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	5	
		チカ刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	12	
		タコ函漁業(0~3 t) (千円/年)	23	
		小型定置網漁業(0~3 t) (千円/年)	15	
	小型定置網漁業(3~5 t) (千円/年)	16		
	小型底曳網漁業(ウニ)(3~5 t) (千円/年)	86		
	小型底曳網漁業(ホッキ貝)(3~5 t) (千円/年)	49		
	年間便益額	千円/年 ⑮	6,433	
年間便益額	(千円/年)	12,477	⑮+⑨	

③ 内港防波堤の整備による流水被害額の削減（第1湖口地区）

区分		数量	備考
流水被害額(税抜き)	(千円/年) ①	98,058	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：サロマ湖養殖漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 ※平成元年～平成5年被害額の平均値
流水被害額の減少	(千円/年) ②	98,058	①
年間便益額	(千円/年) ③	98,058	②の合計
前計画における便益対象施設の事業費	(千円) ④	7,318,180	
本特定計画における便益対象施設の事業費	(千円) ⑤	220,000	
按分率(%)	(%) ⑥	2.9	⑤/(④+⑤)
施設耐用年数	(年) ⑦	30	
年間便益額	(千円/年)	95	③×⑥/⑦

(2) 漁獲機会増大効果

① 防波堤・航路の整備による出漁回数の増加（第1湖口地区）

区分		数量	備考	
漁獲金額 (税抜き)	富士 刺網漁業 (千円/年)	1,794	H24～H28港勢調査より5ヶ年平均値	
	富士 小型底曳網漁業 (千円/年)	32,809		
	登栄床 刺網漁業 (千円/年)	20,142		
	登栄床 函漁業 (千円/年)	16,622		
	芭露 小型底曳網漁業 (千円/年)	4,410		
	芭露 刺網漁業 (千円/年)	3,943		
対象日数	〔整備前〕	富士 刺網漁業 (日)	80	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		富士 小型底曳網漁業 (日)	30	
		登栄床 刺網漁業 (日)	30	
		登栄床 函漁業 (日)	50	
		芭露 小型底曳網漁業 (日)	30	
		芭露 刺網漁業 (日)	30	
	〔整備後〕	富士 刺網漁業 (日)	88	
		富士 小型底曳網漁業 (日)	33	
		登栄床 刺網漁業 (日)	33	
		登栄床 函漁業 (日)	55	
		芭露 小型底曳網漁業 (日)	33	
		芭露 刺網漁業 (日)	33	
漁業所得率	富士 刺網漁業 (%)	53.5	北海道水産業・漁村のすがた2018（北海道水産林務部）	
	富士 小型底曳網漁業 (%)			
	登栄床 刺網漁業 (%)			
	登栄床 函漁業 (%)			
	芭露 小型底曳網漁業 (%)			
	芭露 刺網漁業 (%)			
漁獲量の増加	富士 刺網漁業 (千円/年)	96	(①/②)×(③-②)×④ ※漁港別・漁業種別に算出	
	富士 小型底曳網漁業 (千円/年)	1,755		
	登栄床 刺網漁業 (千円/年)	1,078		
	登栄床 函漁業 (千円/年)	889		
	芭露 小型底曳網漁業 (千円/年)	236		
	芭露 刺網漁業 (千円/年)	211		
年間便益額	(千円/年) ⑥	4,265	⑤の合計	
前計画における便益対象施設の事業費	(千円) ⑦	8,176,255		
本特定計画における便益対象施設の事業費	(千円) ⑧	1,880,000		
按分率	(%) ⑨	18.7	⑧/(⑦+⑧)	
年間便益額	(千円/年)	798	⑥×⑨	

② 防砂堤・航路等の整備による出漁回数の増加（第2湖口地区）

区分			数量	備考	
漁獲金額 (税抜き)	栄浦	小型底曳網漁業 (千円/年)	8,136	H24～H28港勢調査より5ヶ年平均値	
		刺網漁業 (千円/年)	1,162		
	浜佐呂間	小型底曳網漁業 (千円/年)	6,816		
		刺網漁業 (千円/年)	3,995		
	富士	小型底曳網漁業 (千円/年)	7,084		
対象日数	〔整備前〕	栄浦	小型底曳網漁業 (日)	80	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		栄浦	刺網漁業 (日)		
		浜佐呂間	小型底曳網漁業 (日)		
		浜佐呂間	刺網漁業 (日)		
		富士	小型底曳網漁業 (日)		
	〔整備後〕	栄浦	小型底曳網漁業 (日)	88	
		栄浦	刺網漁業 (日)		
		浜佐呂間	小型底曳網漁業 (日)		
		浜佐呂間	刺網漁業 (日)		
		富士	小型底曳網漁業 (日)		
漁業所得率	栄浦	小型底曳網漁業 (%)	53.5	北海道水産業・漁村のすがた2018（北海道水産林務部）	
		刺網漁業 (%)			
	浜佐呂間	小型底曳網漁業 (%)			
		刺網漁業 (%)			
	富士	小型底曳網漁業 (%)			
漁獲量の増加	栄浦	小型底曳網漁業 (千円/年)	435	①/②×③-②×④ ※漁港別・漁業種別に算出	
		刺網漁業 (千円/年)	62		
	浜佐呂間	小型底曳網漁業 (千円/年)	365		
		刺網漁業 (千円/年)	214		
	富士	小型底曳網漁業 (千円/年)	379		
年間便益額 (千円/年)			⑥ 1,455	⑤の合計	
前計画における便益対象施設の事業費 (千円)			⑦ 11,928,854		
本特定計画における便益対象施設の事業費 (千円)			⑧ 5,300,000		
按分率 (%)			⑨ 30.8	⑧/(⑦+⑧)	
年間便益額 (千円/年)			448	⑥×⑨	

(3) 漁獲可能資源の維持・培養効果

① 防砂堤・航路等の整備によるホタテ稚貝生残率の向上（第2湖口地区）

区分		数量	備考
ホタテ稚貝生産実績	(万粒)	① 38,137	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
ホタテ稚貝単価	(円/粒)	② 3.3	全道統一単価(税抜き)
生存率低下割合	(%)	③ 5.0	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
漁業所得率	(%)	④ 53.5	北海道水産業・漁村のすがた2018（北海道水産林務部）
種苗生存率の低下	(千円/年)	⑤ 33,665	①×10,000×②×③×④/1,000
年間便益額	(千円/年)	⑥ 33,665	⑤の合計
前計画における便益対象施設の事業費	(千円)	⑦ 11,928,854	
本特定計画における便益対象施設の事業費	(千円)	⑧ 5,300,000	
按分率	(%)	⑨ 30.8	⑧/(⑦+⑧)
年間便益額	(千円/年)	10,369	⑥×⑨

② 外郭施設・航路等の整備によるホタテ稚貝生産量減少の防止（第1湖口・第2湖口地区）

区分		数量	備考
ホタテ稚貝生産量の減少額	他地区への稚貝販売量減少額	(千円) ① 303,195	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：サロマ湖養殖漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	湖内成貝養殖への稚貝供給量減少額	(千円) ② 1,909,430	
	外地まきへの稚貝供給量減少額	(千円) ③ 420,177	
漁業所得率	(%)	④ 53.5	北海道水産業・漁村のすがた2018（北海道水産林務部）
生産量減少による被害額	(千円/年)	⑤ 1,408,549	(①+②+③)×④
年間便益額	(千円/年)	⑥ 1,408,549	⑤の合計
前計画における便益対象施設の事業費	(千円)	⑦ 16,579,289	
本特定計画における便益対象施設の事業費	(千円)	⑧ 7,180,000	
按分率	(%)	⑨ 30.2	⑧/(⑦+⑧)
年間便益額	(千円/年)	425,382	⑥×⑨

(4) 漁業就業者の労働環境改善効果

① 防波堤・航路の整備による出入港時操船環境の改善(第1湖口地区)

		区分	数量	備考	
対象漁船隻数	富 武 士	サケ定置網漁業(10~20 t)	(隻)	1	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		刺網漁業(0~3 t)	(隻)	13	
		刺網漁業(3~5 t)	(隻)	2	
	芭 露	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t)	(隻)	9	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t)	(隻)	28	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t)	(隻)	1	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t)	(隻)	2	
		小型底曳網漁業(3~5 t)	(隻)	2	
		カレイ刺網漁業(0~3 t)	(隻)	3	
		カレイ刺網漁業(3~5 t)	(隻)	2	
		ニシン刺網漁業(0~3 t)	(隻)	8	
		ニシン刺網漁業(3~5 t)	(隻)	5	
		チカ刺網漁業(0~3 t)	(隻)	7	
		チカ刺網漁業(3~5 t)	(隻)	7	
	登 栄 床	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t)	(隻)	17	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t)	(隻)	105	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t)	(隻)	8	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t)	(隻)	1	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t)	(隻)	19	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t)	(隻)	3	
		カレイ刺網漁業(0~3 t)	(隻)	5	
		カレイ刺網漁業(3~5 t)	(隻)	19	
		ニシン刺網漁業(0~3 t)	(隻)	3	
		ニシン刺網漁業(3~5 t)	(隻)	24	
		ニシン刺網漁業(5~10 t)	(隻)	1	
		チカ刺網漁業(0~3 t)	(隻)	5	
		チカ刺網漁業(3~5 t)	(隻)	3	
		タコ函漁業(0~3 t)	(隻)	5	
		小型定置網漁業(0~3 t)	(隻)	8	
		小型定置網漁業(3~5 t)	(隻)	2	
小型底曳網漁業(ウニ)(3~5 t)	(隻)	7			
小型底曳網漁業(ホッキ貝)(3~5 t)	(隻)	3			
操業回数	富 武 士	サケ定置網漁業	(回/日)	1	
		刺網漁業	(回/日)	1	
	芭 露	ホタテ養殖漁業(採苗)	(回/日)	1	
		小型底曳網漁業	(回/日)	1	
		カレイ刺網漁業	(回/日)	1	
		ニシン刺網漁業	(回/日)	1	
	登 栄 床	チカ刺網漁業	(回/日)	1	
		ホタテ養殖漁業(採苗)	(回/日)	2	
		カレイ刺網漁業	(回/日)	1	
		ニシン刺網漁業	(回/日)	1	
		チカ刺網漁業	(回/日)	1	
		タコ函漁業	(回/日)	1	
		小型定置網漁業	(回/日)	1	
		小型底曳網漁業(ウニ)	(回/日)	1	
小型底曳網漁業(ホッキ貝)	(回/日)	1			
操業日数	富 武 士	サケ定置網漁業	(日/年)	65	
		刺網漁業	(日/年)	80	
	芭 露	ホタテ養殖漁業(採苗)	(日/年)	50	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来)	(日/年)	7	
		小型底曳網漁業	(日/年)	30	
		カレイ刺網漁業	(日/年)	30	
		ニシン刺網漁業	(日/年)	10	
	登 栄 床	チカ刺網漁業	(日/年)	10	
		ホタテ養殖漁業(採苗)	(日/年)	50	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来)	(日/年)	7	
		カレイ刺網漁業	(日/年)	30	
		ニシン刺網漁業	(日/年)	10	
		チカ刺網漁業	(日/年)	10	
		タコ函漁業	(日/年)	50	
小型定置網漁業		(日/年)	20		
小型底曳網漁業(ウニ)	(日/年)	30			
小型底曳網漁業(ホッキ貝)	(日/年)	40			

		区分	数量	備考	
対象作業人数	富武士	サケ定置網漁業 (人/隻)	10	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
		刺網漁業 (人/隻)	2		
	芭露	ホタテ養殖漁業(採苗) (人/隻)	3		
		小型底曳網漁業 (人/隻)	2		
		カレイ刺網漁業 (人/隻)	2		
		ニシン刺網漁業 (人/隻)	2		
		チカ刺網漁業 (人/隻)	1		
	登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗) (人/隻)	④ 3		
		カレイ刺網漁業 (人/隻)	2		
		ニシン刺網漁業 (人/隻)	2		
		チカ刺網漁業 (人/隻)	1		
		タコ函漁業 (人/隻)	2		
		小型定置網漁業 (人/隻)	1		
		小型底曳網漁業(ウニ) (人/隻)	2		
小型底曳漁業(ホッキ貝) (人/隻)	1				
作業時間	富武士	サケ定置網漁業 (時間)	⑤ 0.16		
		刺網漁業 (時間)			
	芭露	ホタテ養殖漁業(採苗) (時間)			
		小型底曳網漁業 (時間)			
		カレイ刺網漁業 (時間)			
		ニシン刺網漁業 (時間)			
		チカ刺網漁業 (時間)			
	登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗) (時間)			
		カレイ刺網漁業 (時間)			
		ニシン刺網漁業 (時間)			
		チカ刺網漁業 (時間)			
		タコ函漁業 (時間)			
		小型定置網漁業 (時間)			
		小型底曳網漁業(ウニ) (時間)			
小型底曳漁業(ホッキ貝) (時間)					
作業状況 ランク	「整備前」	富武士	サケ定置網漁業 (Sb)	⑥ 1.134	公共工事設計労務単価(H31)
			刺網漁業 (Sb)		
		芭露	ホタテ養殖漁業(採苗) (Sb)		
			小型底曳網漁業 (Sb)		
			カレイ刺網漁業 (Sb)		
			ニシン刺網漁業 (Sb)		
			チカ刺網漁業 (Sb)		
		登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗) (Sb)		
			カレイ刺網漁業 (Sb)		
			ニシン刺網漁業 (Sb)		
			チカ刺網漁業 (Sb)		
			タコ函漁業 (Sb)		
			小型定置網漁業 (Sb)		
			小型底曳網漁業(ウニ) (Sb)		
小型底曳漁業(ホッキ貝) (Sb)					
「整備後」	富武士	サケ定置網漁業 (Sc)	⑦ 1.000		
		刺網漁業 (Sc)			
	芭露	ホタテ養殖漁業(採苗) (Sc)			
		小型底曳網漁業 (Sc)			
		カレイ刺網漁業 (Sc)			
		ニシン刺網漁業 (Sc)			
		チカ刺網漁業 (Sc)			
	登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗) (Sc)			
		カレイ刺網漁業 (Sc)			
		ニシン刺網漁業 (Sc)			
		チカ刺網漁業 (Sc)			
		タコ函漁業 (Sc)			
		小型定置網漁業 (Sc)			
		小型底曳網漁業(ウニ) (Sc)			
小型底曳漁業(ホッキ貝) (Sc)					

区分		数量	備考	
漁業者労務単価	サケ定置網漁業(10~20 t)	(円/時間)	2,065	
	刺網漁業(0~3 t)	(円/時間)	1,010	
	刺網漁業(3~5 t)	(円/時間)	1,442	
	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t)	(円/時間)	1,010	
	ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t)	(円/時間)	1,442	
	ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t)	(円/時間)	2,569	
	小型底曳網漁業(3~5 t)	(円/時間)	1,442	
	カレイ刺網漁業(0~3 t)	(円/時間)	1,010	
	カレイ刺網漁業(3~5 t)	(円/時間)	1,442	
	ニシン刺網漁業(0~3 t)	(円/時間)	1,010	
	ニシン刺網漁業(3~5 t)	(円/時間)	1,442	
	ニシン刺網漁業(5~10 t)	(円/時間)	2,569	
	チカ刺網漁業(0~3 t)	(円/時間)	1,010	
	チカ刺網漁業(3~5 t)	(円/時間)	1,442	
	タコ函漁業(0~3 t)	(円/時間)	1,010	
	小型定置網漁業(0~3 t)	(円/時間)	1,954	
小型定置網漁業(3~5 t)	(円/時間)	1,954		
作業環境の改善	富武士	サケ定置網漁業(10~20 t)	(千円/年)	29
		刺網漁業(0~3 t)	(千円/年)	45
		刺網漁業(3~5 t)	(千円/年)	10
	芭露	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t)	(千円/年)	29
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t)	(千円/年)	130
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t)	(千円/年)	8
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t)	(千円/年)	1
		小型底曳網漁業(3~5 t)	(千円/年)	4
		カレイ刺網漁業(0~3 t)	(千円/年)	4
		カレイ刺網漁業(3~5 t)	(千円/年)	4
		ニシン刺網漁業(0~3 t)	(千円/年)	3
		ニシン刺網漁業(3~5 t)	(千円/年)	3
		チカ刺網漁業(0~3 t)	(千円/年)	2
	チカ刺網漁業(3~5 t)	(千円/年)	2	
	登栄床	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t)	(千円/年)	110
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t)	(千円/年)	974
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t)	(千円/年)	132
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来0~3 t)	(千円/年)	1
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来3~5 t)	(千円/年)	25
		ホタテ養殖漁業(採苗)(外来5~10 t)	(千円/年)	7
		カレイ刺網漁業(0~3 t)	(千円/年)	6
		カレイ刺網漁業(3~5 t)	(千円/年)	35
		ニシン刺網漁業(0~3 t)	(千円/年)	1
		ニシン刺網漁業(3~5 t)	(千円/年)	15
		ニシン刺網漁業(5~10 t)	(千円/年)	1
		チカ刺網漁業(0~3 t)	(千円/年)	1
		チカ刺網漁業(3~5 t)	(千円/年)	1
		タコ函漁業(0~3 t)	(千円/年)	11
		小型定置網漁業(0~3 t)	(千円/年)	7
		小型定置網漁業(3~5 t)	(千円/年)	2
小型底曳網漁業(ウニ)(3~5 t)		(千円/年)	13	
小型底曳網漁業(ホッキ貝)(3~5 t)	(千円/年)	4		
年間便益額	(千円/年)	⑩	1,620	⑨の合計
前計画における便益対象施設の事業費	(千円)	⑪	8,176,255	
本特定計画における便益対象施設の事業費	(千円)	⑫	1,880,000	
按分率	(%)	⑬	18.7	⑫/(⑪+⑫)
年間便益額	(千円/年)		303	⑩×⑬

漁業経営調査報告書(平成30年11月農林水産省)より算定

①×②×③×④×⑤×(⑥-⑦)×⑧/1,000
※漁港別・漁業別・階層別に算出

② 防砂堤・航路等の整備による出入港時操船環境の改善(第2湖口地区)

		区分	数量	備考
対象漁船隻数	栄浦	刺網漁業(0~3 t) (隻)	1	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		刺網漁業(3~5 t) (隻)	3	
		サケ定置網漁業(3~5 t) (隻)	1	
		小型定置網漁業(0~3 t) (隻)	23	
		小型定置網漁業(3~5 t) (隻)	1	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (隻)	14	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (隻)	11	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (隻)	2	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (隻)	31	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (隻)	3	
		小型底曳網漁業(0~3 t) (隻)	4	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (隻)	1	
	浜佐呂間	小型底曳網漁業(0~3 t) (隻)	1	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (隻)	2	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (隻)	1	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20 t) (隻)	6	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (隻)	3	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (隻)	12	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (隻)	1	
	富士士	刺網漁業(3~5 t) (隻)	3	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (隻)	4	
		小型底曳網漁業(10~20 t) (隻)	3	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (隻)	1	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (隻)	52	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (隻)	3	
		小型定置網漁業(0~3 t) (隻)	5	

		区分	数量	備考
操業回数	栄浦	刺網漁業(0~3 t) (回/日)	2	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		刺網漁業(3~5 t) (回/日)	2	
		サケ定置網漁業(3~5 t) (回/日)	2	
		小型定置網漁業(0~3 t) (回/日)	1	
		小型定置網漁業(3~5 t) (回/日)	1	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (回/日)	5	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (回/日)	3	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (回/日)	2	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (回/日)	2	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (回/日)	2	
		小型底曳網漁業(0~3 t) (回/日)	1	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (回/日)	1	
	浜佐呂間	小型底曳網漁業(0~3 t) (回/日) ②	1	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (回/日)	1	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (回/日)	4	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20 t) (回/日)	3	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (回/日)	2	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (回/日)	2	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (回/日)	2	
	富武士	刺網漁業(3~5 t) (回/日)	2	
小型底曳網漁業(3~5 t) (回/日)		1		
小型底曳網漁業(10~20 t) (回/日)		1		
ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (回/日)		2		
ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (回/日)		2		
操業日数	栄浦	刺網漁業 (日/年)	80	
		サケ定置網漁業 (日/年)	65	
		小型定置網漁業 (日/年)	165	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (日/年)	14	
		ホタテ養殖漁業(採苗) (日/年)	50	
小型底曳網漁業 (日/年)		80		
浜佐呂間	小型底曳網漁業 (日/年) ③	80		
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (日/年)	14		
	ホタテ養殖漁業(採苗) (日/年)	50		
富武士	刺網漁業 (日/年)	80		
	小型底曳網漁業 (日/年)	80		
	ホタテ養殖漁業(採苗) (日/年)	50		
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (日/年)	14		
		小型定置網漁業 (日/年)	165	

		区分	数量	備考
対象作業人数	栄浦	刺網漁業(0~3 t) (人/隻)	2	調査日：平成30年9月4日 調査対象者：湧別漁業協同組合、常呂漁業協同組合、佐呂間漁業協同組合 調査実施者：網走港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		刺網漁業(3~5 t) (人/隻)	2	
		サケ定置網漁業(3~5 t) (人/隻)	8	
		小型定置網漁業(0~3 t) (人/隻)	3	
		小型定置網漁業(3~5 t) (人/隻)	5	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (人/隻)	6	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (人/隻)	6	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (人/隻)	3	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (人/隻)	3	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (人/隻)	3	
		小型底曳網漁業(0~3 t) (人/隻)	2	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (人/隻)	2	
	浜佐呂間	小型底曳網漁業(0~3 t) (人/隻)	④ 2	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (人/隻)	2	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (人/隻)	6	
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20 t) (人/隻)	6	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (人/隻)	3	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (人/隻)	3	
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (人/隻)	3	
	富武士	刺網漁業(3~5 t) (人/隻)	2	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (人/隻)	2	
小型底曳網漁業(10~20 t) (人/隻)		6		
ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (人/隻)		3		
ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (人/隻)		3		
ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (人/隻)		6		
作業時間	栄浦	刺網漁業 (時間)	⑤ 0.16	
		サケ定置網漁業 (時間)		
		小型定置網漁業 (時間)		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (時間)		
		ホタテ養殖漁業(採苗) (時間)		
		小型底曳網漁業 (時間)		
	浜佐呂間	小型底曳網漁業 (時間)		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (時間)		
		ホタテ養殖漁業(採苗) (時間)		
		刺網漁業 (時間)		
	富武士	小型底曳網漁業 (時間)		
		ホタテ養殖漁業(採苗) (時間)		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (時間)		
		小型定置網漁業 (時間)		

		区分	数量	備考	
作業状況 ランク	〔整備前〕	栄浦	刺網漁業 (Sb)	⑥	1.134
			サケ定置網漁業 (Sb)		
			小型定置網漁業 (Sb)		
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (Sb)		
			ホタテ養殖漁業(採苗) (Sb)		
			小型底曳網漁業 (Sb)		
		浜佐呂間	小型底曳網漁業 (Sb)		
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (Sb)		
			ホタテ養殖漁業(採苗) (Sb)		
		富士	刺網漁業 (Sb)		
			小型底曳網漁業 (Sb)		
			ホタテ養殖漁業(採苗) (Sb)		
	〔整備後〕	栄浦	刺網漁業 (Sc)	⑦	1.000
			サケ定置網漁業 (Sc)		
			小型定置網漁業 (Sc)		
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (Sc)		
			ホタテ養殖漁業(採苗) (Sc)		
			小型底曳網漁業 (Sc)		
		浜佐呂間	小型底曳網漁業 (Sc)		
			ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (Sc)		
富士	ホタテ養殖漁業(採苗) (Sc)				
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流) (Sc)				
	刺網漁業 (Sc)				
	小型定置網漁業 (Sc)				
漁業者労務単価	刺網漁業(0~3t) (円/時間)		⑧	1,010	漁業経営調査報告書(平成30年11月農林水産省)より算定
	刺網漁業(3~5t) (円/時間)			1,442	
	サケ定置網漁業(3~5t) (円/時間)			1,442	
	小型定置網漁業(0~3t) (円/時間)			1,954	
	小型定置網漁業(3~5t) (円/時間)			1,954	
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10t) (円/時間)			2,569	
	ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20t) (円/時間)			2,065	
	ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3t) (円/時間)			1,010	
	ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5t) (円/時間)			1,442	
	ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10t) (円/時間)			2,569	
	小型底曳網漁業(0~3t) (円/時間)			1,010	
	小型底曳網漁業(3~5t) (円/時間)			1,442	
	小型底曳網漁業(10~20t) (円/時間)			2,065	

公共工事設計労務単価(H31)

区分		数量	備考		
作業環境の改善	栄浦	刺網漁業(0~3 t) (千円/年)	7		
		刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	30		
		サケ定置網漁業(3~5 t) (千円/年)	32		
		小型定置網漁業(0~3 t) (千円/年)	477		
		小型定置網漁業(3~5 t) (千円/年)	35		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (千円/年)	324		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20t) (千円/年)	123		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	13		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	288		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	50		
		小型底曳網漁業(0~3 t) (千円/年)	14		
		小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	5		
	浜佐呂間	小型底曳網漁業(0~3 t) (千円/年)	⑨	①×②×③×④×⑤×(⑥-⑦)×⑧/1,000 ※漁港別・漁業種別・階層別に算出	
		小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	10		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(5~10 t) (千円/年)	19		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(外来10~20 t) (千円/年)	67		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	19		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	111		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(5~10 t) (千円/年)	17		
		刺網漁業(3~5 t) (千円/年)	30		
	富士土	小型底曳網漁業(3~5 t) (千円/年)	20		
		小型底曳網漁業(10~20 t) (千円/年)	64		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(0~3 t) (千円/年)	6		
		ホタテ養殖漁業(採苗)(3~5 t) (千円/年)	482		
		ホタテ養殖漁業(稚貝放流)(10~20 t) (千円/年)	45		
	年間便益額 (千円/年)	⑩	2,395		⑨の合計
	前計画における便益対象施設の事業費 (千円)	⑪	11,928,854		
本特定計画における便益対象施設の事業費 (千円)	⑫	5,300,000			
按分率 (%)	⑬	30.8	⑫/(⑪+⑫)		
年間便益額 千円/年		738	⑩×⑬		

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

作業環境ランク表 防波堤・航路の整備による出入港時操船環境の改善(第1湖口地区) (4)①

		評価指標	ポイント	整備前	整備後	評価の根拠(整備前)	根拠(評価の目安)	
危険性	事故等の発生頻度	a.作業中の事故や病気等が頻発している	3				ほぼ毎年のように事故や病気が発生	
		b.過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2				直近5年程度での発生がある	
		c.過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		航行中の船体動揺により、漁船上でのケガ等の発生が懸念される。		
		d.事故等が発生する危険性は低い	0		○			
	事故等の内容	a.生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等	
		b.一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2				転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	
		c.通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○		航行中の船体動揺により、漁船上でのケガ等の発生が懸念される。	軽い打撲等	
		d.事故等が発生する危険性は低い	0		○			
	危険性小計			0~6	2	0		
	作業環境		a.極めて過酷な作業環境である	5				極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
		b.風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		港口付近では横波等を受け、航行中に漁船が大きく動揺する。	風雨、波浪の飛沫等	
		c.風雨等の影響を受ける場合がある	1					
		d.当該地域における標準的な作業環境である	0		○			
重労働性		a.肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等	
		b.肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		港口付近では横波等を受け、航行中に漁船が大きく動揺する。	長時間の同じ姿勢での作業等	
		c.肉体的負担がある作業	1					
		d.通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○			
		評価ポイント 計		8	0			
		作業ランク		B	C			

Aランクの条件:評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること

Bランクの条件:評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件:評価ポイント計5~0ポイント

作業環境ランク表 防砂堤・航路等の整備による出入港時操船環境の改善(第2湖口地区) (4)②

		評価指標	ポイント	整備前	整備後	評価の根拠(整備前)	根拠(評価の目安)	
危険性	事故等の発生頻度	a.作業中の事故や病気等が頻発している	3				ほぼ毎年のように事故や病気が発生	
		b.過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2				直近5年程度での発生がある	
		c.過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		航行中の船体動揺により、漁船上でのケガ等の発生が懸念される。		
		d.事故等が発生する危険性は低い	0		○			
	事故等の内容	a.生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等	
		b.一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2				転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	
		c.通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○		航行中の船体動揺により、漁船上でのケガ等の発生が懸念される。	軽い打撲等	
		d.事故等が発生する危険性は低い	0		○			
	危険性小計			0~6	2	0		
	作業環境		a.極めて過酷な作業環境である	5				極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
		b.風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		港口付近では横波等を受け、航行中に漁船が大きく動揺する。	風雨、波浪の飛沫等	
		c.風雨等の影響を受ける場合がある	1		○			
		d.当該地域における標準的な作業環境である	0					
重労働性		a.肉体的負担が極めて大きい作業	5	○			人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等	
		b.肉体的負担が比較的大きい作業	3			港口付近では横波等を受け、航行中に漁船が大きく動揺する。	長時間の同じ姿勢での作業等	
		c.肉体的負担がある作業	1					
		d.通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○			
		評価ポイント 計		8	0			
		作業ランク		B	C			

Aランクの条件:評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること

Bランクの条件:評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件:評価ポイント計5~0ポイント